

VIVID - STILL

静か。鮮烈で

MIO YAMATO | 2017.1.6 fri - 1.22 sun | Gallery PARC

2015年に京都造形芸術大学大学院を修了した大和美緒(やまと・みお/滋賀・1990~)は、2014年にGallery PARCで開催した初個展「aspect of LUMINOUS RED」において、2週間以上の会場制作により5面もの大きなガラス窓を用い、そこに『るんるん』や『どきどき』といった短い言葉を書き連ね、その集積により大きなイメージを現わすインスタレーションを発表しています。

これらは身の回りに溢れる大量の情報(コトバやイメージ)に浸る中で、ミクロに埋没してしまいそうな「私」という感覚を、それらをマクロに再構築するプロセスに身体によって関わり、目の前に新たなイメージの世界を出現させることで、「私」の存在を確認したいという欲求に端を発したものでした。

以降、大和は制作のプロセスに積極的に身体を用い、そこに完成した画面・空間において、自身を含む大きな自然のシステムの姿を見ようとする作品を展開させています。

たとえば、『大きなキャンバスに点をひとつ打つ。次の点をその隣に打つ』『一本の線を引く。次の線をその隣に引く』『一筆書きの星を描く。それぞれの頂点が接するように周囲に同じく星を描く』。これらシンプルなるルールによる機械的な作業は、大和の身体によって繰り返されることで、一つひとつのわずかな歪みが連鎖し、いつしか画面上には「絶え間の無い揺らぎ」の波形が現れます。

画面上の無数の点は大和の行為の記録であり、そこには絶えず揺らぐ身体のままならなさを見ることが出来ます。また、大和の瞬間の思考や判断によって個性を与えられた一つひとつの点の連なりは線として見ることができ、それらは陽の光や周囲の湿度、環境の影響を受けながら伸びる植物や、その歴史が年輪として現れた板の木目のようなイメージを見ることが出来ます。また、それらは面となって、山の稜線や波のカタチといった揺らぐ世界の姿を垣間見ることも出来ます。

こうしたプロセスによる制作について大和は「考えや想像のもとに、描きたいカタチに目を奪われるのではなく、目の前を見て、考えて、体を動かすというシンプルなこと集中したい。例えば苔が水と濁きを感じ取り、判断し、考えながら生きるように、点や線や絵が互いに感じて、考えて、瞬間の判断を行なうことで成すカタチに興味があるし、そうしたことを体験したい。」と話します。

本展では12月末からの会場制作によりギャラリー空間のガラス面を支持体として制作した「点」による《DRAWING HEARTBEAT》のほか、「線」による《drawing repetition(line)》を発表します。加えて、ガラス板に染料インクを垂らして現れる様相を手がかりに描かれた《Flora》のシリーズもインスタレーションにより展示いたします。また、1月10日以降、無数の「星」を描き連ねる《REPETITION (star)》を会場制作します。

また、本展はCOHJU contemporary artとの2会場同時開催として、各会場で異なる内容の展示を行います。両会場は徒歩で移動が可能です。ぜひ合わせてご覧いただき、その魅力をより強く感じていただければ幸いです。

大和美緒

statement

何度も繰り返し、ただひたすらに同じパターンを描き続けることで、物質や身体が時間の流れとともに徐々に変化してゆく過程を理解したいと考えています。

制作の過程で点の連続はやがて秩序を失い、線はやがて大きく畝る。やがて浮き上がる一つのイメージは「私」という一人の人間が経た経験の投影であり、生きるという現象の記録なのかもしれません。

CV

1990年、滋賀県生まれ
2015年、京都造形芸術大学 大学院 総合造形領域 修了

【個展】

2014
- aspect of LUMINOUS RED (Gallery PARC, 京都)

【グループ展】

2016
- CAF 賞選抜展 (HOTEL ANTEROOM KYOTO, 京都)

2015
- WEEKEND2 コン/ヒロコ × 大和美緒 (KHギャラリー 芦屋, 兵庫)
- 混沌から躍り出る星たち 2015 (スパイラルガーデン 青山, 東京)
- ART AWARD tokyo marunouchi 2015 (丸ビル1F マルキューブ アトリウム, 東京)
- CAF ART AWARD 2015 (3331arts chiyoda, 東京)
- ULTRA × ANTEROOM 2015 (HOTEL ANTEROOM Gallery 9.5, 京都)
- 京都造形芸術大学 修了展 (京都造形芸術大学, 京都)

2014
- SPRUT 2013 (京都造形芸術大学 gallery Aube, 京都)

2013
- Ultra Award 2013 (ART ZONE, 京都)
- キテ、ミテ中之島 ミテ キテ ミュージアム 2013 (京阪電鉄中之島駅)
- Art Award Tokyo Marunouchi 2013 (行幸地下ギャラリー, 東京)
- 持ち腐れだと、誰が言った。(つくるビル, 京都)
- [Con] Temporary Commune (Gallery PARC, 京都)
- 京都造形芸術大学 卒業展 (京都造形芸術大学)
- キネキテル (Antenna Media, 京都)
- [宙] をただよう思考展 (ART ZONE, 京都)
- 京都造形芸術大学 総合造形ゼミ4回生展 (京都造形芸術大学)

【受賞歴】

2015
- CAF 賞 2015 山口裕美賞
- Art Award Tokyo Marunouchi 2015 小山登美夫賞
- 京都造形芸術大学 修了展 優秀賞

2013
- Ultra Award 2013 オーディエンス賞
- Art Award Tokyo Marunouchi 2013 高橋明也賞

【フェア】

2016
- Art Stage Jakarta (シェラトン グランド ジャカルタ ガンダリア シティ ホテル, インドネシア)
- HOTEL ANTEROOM KYOTO 365日アートフェア (258号室) (HOTEL ANTEROOM KYOTO, 京都)
- ART STAGE SINGAPORE 2016 (マリーナ ベイ サンズ, シンガポール)
- LONDON'S GLOBAL ART FAIR (オリオンピア, イギリス)

2015
- SYDNEY CONTEMPORARY (キャリッジワークス, オーストラリア)
- 超京都 art kyoto 2015 (ちおん舎/京都文化博物館, 京都)

works

●2階ギャラリー内展示作品

[A] *1月10日より会場制作中
REPETITION (star)

[01]
REPETITION BLACK(line) 1
2017 紙に中性インク h135×w92×d5cm (3点組)

[02] *2016年12月23日~30日にかけて制作
DRAWING HEARTBEAT 2
2017 ガラスにアクリル絵具 h235×w220cm

[03] *2017年1月2日~5日にかけて制作
DRAWING HEARTBEAT 3
2017 ガラスにアクリル絵具 h235×w215cm

[04]
REPETITION RED(dot) 15
2016 キャンバスに油絵具 h100×w100cm

[05]
Flora
2017 ガラスに染料インク、ランの苗 h60×w60×5cm

[06]
drawing repetition(line)
2016 紙に中性インク h37×w25×5cm

[07]
RED-BLUE
2016 キャンバスに油絵具 h18×w18×3cm

●1階グラブマーブル店舗内展示作品(御幸町通り側)

*11月10日よりおよそ10日間をかけて制作

DRAWING HEARTBEAT 1
2016 ガラスにアクリル絵具 h260×w440cm

